

大府かわら版

高齢者のデイサービスセンターをつぶして

おもちゃ美術館？

日本共産党・久永かずえの6月市議会報告 ③

(報告①は6/23号に、②は6/30号に、それぞれ掲載しています)

6月議会できとりあげた問題点など、引き続きご報告します。



疑問は置き去りの拙速計画

このまま進めるだけでいいの？

久永市議が
反対討論

6月議会に提案された補正予算案に、日本共産党の久永かずえ市議は反対しました(他の議員は全員賛成)。病児・病後児の保育新設のための改修費や、有機農業へ転換する農業者への補助金などが含まれていましたが、2つの大きな問題を見逃しにはできなかったからです。それは①マイナンバー制度推進のためのシステム改修委託料②大府市デイサービスセンターを廃止して開設する「おもちゃ美術館」の計画策定業務委託料、です。今号では「おもちゃ美術館」の「4つの疑問点」を指摘した久永市議の反対討論についてお報告します。

疑問① かかる費用の全体像が分からないまま

現在のデイサービスセンターの改修費、おもちゃ美術館の運営や維持管理に年間どれほど費用がかかるかのランニングコストなど、何も示されていない。この状態のまま新しい事業の予算は認められない。持続可能な運営には大府市として上限も必要であり、毎年いくらかかるのかは示す必要がある。学芸員という資格をもったボランティアを募るにしても、館長やスタッフの人件費は最低必要だ。岡村市長の「理想の事業」とするためにかかる予算は青天井なのか？または、事業費が膨大で公表できないのか？

疑問② 子どもの入館料はどのくらいか

全国に12館ある「おもちゃ美術館」の多くは有料で、大府市もその方向で検討していると言いつつ。しかし、小中学

生が複数で遊びに行っても入館料を払えない家庭の子どもは一緒に遊べない、となれば問題ではないか。年間8万人の来館を目指すと言いつつ、採算が合わなければ入館料の値上げとなるのか、懸念される。

疑問③ 開設場所は「いい感じ」の場所なのか

「おもちゃ美術館」を開館する横根町の午池地域は、県営住宅やいきいきプラザを含む地区計画で「高齢者がいきいきと安心して暮らせるまち」いきいきタウンとなっている。その市デイサービスセンターを廃止する理由の一つが「老朽化」だが、老朽施設をただ「改修」して利用するというのは矛盾している。さらに渋滞の懸念も。入館者の想定は1日最大900人。そのため駐車場スペースを現状20台分から100台分に増やす。付近にはスーパーが今夏オープン予定で、周辺道路の渋滞懸念はさらに深刻化するのでは？

疑問④ 親子の願いを聞いてくれているのか

「市民からは天候に左右されることなく屋内で安全に遊ぶことができる場を求める声が寄せられている」と言いつつ、それをとくに子育て世代の親や子が「子ども美術館」だと具体的に要望しているものではない。親子のイメージは児童センターのような施設ではないか。岡村市長がやりたい事業でも、市民的には「あったらいいな」というほどのミュージアムの整備を急ぐよりも、より切実な小学校の給食費の無償化、医療費無料化の年齢拡大、学費の軽減を優先すべきではないか？

拙速を排して本予算での対応を

これだけの大きなプロジェクトであれば、補正予算ではなく本来は当初の予算に組み込むべき。すてきな「おもちゃ美術館」にしていくためには、美術館の理念を引き継ぐ強い意志と、これから長年月、地域でコミュニティを築き館を支えてゆく学芸員を時間をかけて増やし、地域に愛されるおもちゃ美術館にしていかなければ、本来の目

おもちゃ美術館とは (市ホームページより)

「見る、触る、感じる『遊びと体験』を通じてこどもたちの創造力と豊かな感性、主体性を育む場の創出」が基本理念。「東京おもちゃ美術館」のコンテンツを取り入れ、木製の良質なおもちゃ、特色ある遊具などを備えた全天候型屋内遊戯施設として整備す

る。R6年度に「整備・運営計画策定業務」を委託する。(6月補正予算1294万7千円)。施設は横根町狐山97-3市デイサービスセンターを改修して充てる。R9年4月開館予定。

…と説明されています。

的から大きく外れることになる。「早く進めたい」という市長の思いが先走り、毎年のランニングコストも全体の予算規模も不明のまま。さらに場所の問題でも納得はできないため、この計画を含む補正予算案に反対する。

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

7月17日(水)午後6時～^{無料}

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話